

農林水産省 東北農政局 秋田県拠点

秋田ニュース

Stationed at Akita Prefecture Area,
Tohoku Regional Agricultural Administration Office

ディスカバー農山漁村（むら）の宝

豊かなむらづくり全国表彰事業

第10回記念賞 農林水産大臣賞 受賞2団体の取組をご紹介します！

ディスカバー農山漁村(むら)の宝 第10回記念賞受賞 一般社団法人 仙北市農山村体験推進協議会



【写真】法被姿の仙北市農山村体験推進協議会及び関係者の皆さん

農林水産省は、「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」の実現を推進しています。「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、農山漁村の地域資源を引き出すことにより、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定・発信し、他地域への波及を図る取組です。

受賞の経緯

第10回となる令和5年度は、過去に選定された優良事例の中から、選定後に著しい発展性がみられ、全国の模範となる取組（全国1地区）を表彰する「第10回記念賞」が設けられました。第3回選定で「フレンドシップ賞」を受賞している「仙北市農山村体験推進協議会」が以前からの活動に加えて、平成30年には国家戦略特区



総理官邸での交流会
(写真提供:協議会)

区を活用し英語も加えたHPへの訪問者を急激に増やしたことが、継続して向上していると高く評価され、今回の受賞となりました。

活動の内容

平成20年に任意団体として設立され、農家民宿や農山村体験のサポートを中心に活動。平成30年に一般社団法人となり、同協議会には農家民宿だけでなく、お土産店、旅行会社など、さまざまな業種が加盟しています。

また、旅行業務取扱管理者の資格取得や地域限定旅行業の登録により、協議会としてワンストップサービス体制を構築しており、コロナ禍でも独自の感染ガイドラインを作成して、万全の体制で観光客を受け入れしてきました。



民宿甚吉の農業作業体験
(写真提供:協議会)

令和5年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 農林水産大臣賞 横岡集落(秋田県にかほ市)

令和5年11月10日(金)東北農政局(仙台市)において、「令和5年度豊かなむらづくり全国表彰事業東北ブロック表彰式」が開催されました。同事業は、農山漁村における「むらづくり」の優良事例の表彰を行うことにより、「むらづくり」を全国に展開し、農林漁業及び農山漁村の健全な発展につなげようというものです。今年度、本県の横岡集落が農林水産大臣賞を受賞しました。



受賞団体(前列左から3人目が齋藤喜久男氏)

そば組合の取組

横岡集落では、担い手の減少等により、保安全管理されていない農地が増加していることに危機感を持った齋藤喜久男さん(現「横岡稲倉そば生産組合」代表)が農地所有者に声がけし、賛同した10名の仲間と平成23年4月にそば生産組合を設立しました。

中山間地に属する横岡集落は水はけが悪く、そばの栽培には適さない農地が多かったため、排水対

策を徹底しました。また、土壌診断に基づいた施肥を行うなど栽培技術を向上させ、高い単収と品質を実現しています。

地域との連携

組合では、遊休農地を集積し、生産面積を増やす取組や近隣のそば組合と協議会を組織し、現地研修会や情報交換会を行うなど、地域のそば生産を盛り上げる活動も行っています。

また、にかほ市と連携し農業体験やそば打ち体験を実施したり、Ventosが運営するゲストハウス麓田-Rokumasuを核とした交流人口拡大に向けたイベントの企画など関係機関と連携し活動しています。そして、「地域計画」策定のための話し合いの場づくりにも協力しています。



親子で参加するそば打ち体験
(写真提供: Ventos)

次世代につながる活動

組合では、収穫時期の早さを活かし、都内の飲食店が企画する「新そば祭り」にそばを提供しており、その縁で社員の研修を受け入れるなどつながりも多方面にわたり、経営も順調ですが、齋藤代表は、「将来像を考えた場合、運営経費などを含め、懸念材料は多いが、それでもそばを通じて地域の次世代につながる活動を続けていきたい。」と話してくださいました。



集落のそば畑(写真提供: 秋田県)

